

発行所
社会福祉法 長野県身体障害者
福祉協会
長野市若里7-1-7
TEL 026 (228) 0317
E-mail:nagasin@avis.ne.jp
編集発行人 小林和夫



県身障協/バッチ

新春を迎えて

長野県知事 阿部 守一

新年あけましておめでとうございませう。謹んで新春のお慶びを申し上げます。



県民の皆様には、旧年中、県の推進に対して格別の御支援と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、1月下旬から新型コロナウイルス感染症への対応が始まり、4月には、全国的な感染の拡大により緊急事態宣言が発出される事態となりました。

この間、県民の皆様には幾重にもわたる感染防止対策をお願いしてまいりましたが、その都度、積極的に御協力をいただきましたことに、この場を借りて心から感謝申し上げます。

新年のあいさつ

理事長 小林 和夫



新年明けましておめでとうございませう。皆様には穏やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症が蔓延して、自粛した「新しい生活様式」の暮らしを強いられた。ストレスの高い不便な一年でした。皆様には如何でしたでしょうか。コロナ感染症蔓延の影響を受けて、協会の事業が殆ど中止若しくは延期と云う事で、ご迷惑を掛けています。ご理解をお願いします。此のコロナの影響は、長野県に於いてはより以上に深刻

日への希望を持って安心して暮らしていただくことができるよう、今年はこの点に注力しながら県政運営にあたっております。

まず、新型コロナウイルス感染症への対応については、状況に応じた機動的な対策をとり、県民の皆様への命と健康を守るため最善を尽くしてまいります。医療機関をはじめ関係の皆様への御協力をいただきながら、診療・検査や医療・療養体制をこれまで以上に充実します。

次に、東日本台風災害等からの復旧・復興を速やかに進め、災害に強い県土づくりを推進します。今もなお、多くの被災された皆様が仮設住宅で暮らしを営んでおられます。このような方々の思いに寄り添い、生活と生業の再建に最大限の支援を行ってまいります。あわせて、災害の教訓を踏まえ、市町村と協力して、県民の皆様への防災意識の向上と避難対策の充実に取り組んでまいります。

結びに、本年が新型コロナウイルス感染症の克服に向けて大きく前進する年となること、そして、皆様方にとってよき一年となりますことを心より祈念し、新年の御挨拶といたします。

な状況で、私達が長年要望して来て、漸く策定が実現する筈に決まった「長野県障がい者共生社会づくり条例（仮称）」の制定作業も大きく遅れる影響を受けています。しかし作業が遅れても、条例が制定されるのは確定している事です。期待を持って見守りましょう。コロナの影響で、長野県が予定していた国民スポーツ大会、同障害者スポーツ大会が二〇二七年から、二八年に延期になる様です。また同じ影響が、長野県協会が担当の順番とされていた「日身連」の全国大会が、二〇三〇年から二〇三一年に延期になるなど、影響が拡大しています。今年こそは正常な協会運営の出来ることを期待するところです。結びに、コロナの終息と、皆様のご健康、ご多幸を祈念して年頭の挨拶といたします。

長野県身体障害者

福祉大会について

令和2年度第71回長野県身体障害者福祉大会については、北信ブロックの中野市（会場・志賀高原総合会館98ホール）にて開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となりました。これまで準備してきたことから、「第71回長野県身体障害者福祉大会中野市大会中止」と記録に残し、令和3年度の大会は、第72回大会とし、順番の東信地区で開催します。

例年福祉大会で実施している「知事表彰（社会福祉表彰）」は、令和2年8月3日（月）県庁内で伝達式が執り行われました。なお「理事長表彰」は令和2年度は行いませんでした。

知事表彰受賞者名簿

（社会福祉表彰―障がい者福祉分野）

- 大和 邦彦 (岡谷市)
- 堀内 六十三 (中野市)
- 上坂 とし子 (木曾郡上松町)
- 小沼 紘代 (上田市)
- 小林 歌子 (小諸市)

第72回長野県身体障害者福祉大会

千曲市で開催予定

開催日：令和3年9月9日（木）

開催場所：千曲市戸倉創造館

健康福祉部長との懇談会

10月29日(木)



正副理事長が、県庁議会増築棟第1特別会議室において、土屋健康福祉部長と懇談し、以下の事項を要望しました。未曾有のコロナ禍に対して、昼夜ご尽力いただいていることと、制定に向けて日々奮闘中の新条例についての経過報告等のお話をいただきました。

1 実効性のある差別解消のための条例の早期制定を要望する。

〈回答要旨〉(障がい者支援課)

○「長野県障がい者共生社会づくり条例(仮称)検討報告書」を受け、県では条例案の検討をしているところとあります。

なお、新型コロナウイルスの影響により社会・経済活動に大きな影響が出ている中で、条例制定の時期の見極めが必要となっておりますが、検討報告書を基本とした条例の制定を目指し、今後も全力で取り組んでまいります。

また、障がい者共生社会づくり条例を実効性のある条例とするため、県民への周知に全力で取り組んでまいります。

2 新型コロナウイルスの感染予防対策の充実を要望する。

〈回答要旨〉(健康福祉政策課)

○県では、全庁的な対策本部の設置とともに、関係課室を新設し、国・市町村等と連携して医療提供体制や検査体制などの整備を進めるなど、新型コロナウイルス感染症への対応を最優先事項として取り組んでまいります。

〈回答要旨〉(感染症対策課)

○新型コロナウイルス感染症にかかるとともに、厚生労働省の審議会等において、接種費用の無料化の方針が了承されたところです。接種順位については、コロナ患者を受け入れる医療機関の従事者、高齢者及び基礎疾患を有する者等を優先するという中間取りまとめが行われております。

今後、国や関係機関に働きかけ、必要な対策に取り組んでまいります。

3 長野県社会福祉総合センター(仮称)の早期建設を希望する。

〈回答要旨〉(地域福祉課)

○今回、長野保健福祉事務所の建物を新たな活動の拠点として、入居していただくことになり、各団体の意見をお聞きして改修工事を行い、必要な執務環境の整備に努めてまいります。

まずは、この場所を拠点に新たな活動にも取り組んでいただきたいと考えております。

4 福祉のまちづくりに障害者の知恵や工夫が生かされ、社会的障壁がなくなることを要望する。

〈回答要旨〉(地域福祉課)

○社会的障壁を取り除き、障がいのある方などの暮らしやすい環境づくりが重要と認識しており、障がいのある方等が計画の初期段階から参画できる機会を設けることについて、引き続き、関係部局に周知徹底してまいります。

○福祉のまちづくり条例に基づいて、事業者を含め、広く県民に福祉のまちづくりの理念を啓発するとともに、既存の国庫補助制度も活用しながら、安全・安心な生活環境の整備を促進してまいります。

○障がいのある方やその家族に寄り添ったきめ細やかな相談支援体制が更に充実するよう継続して支援してまいります。

〈回答要旨〉(障がい者支援課)

○長野県では、障がいのある方へ適切な対応をするための基本的事項を定めた「職員対応要領」を平成28年3月に策定し、県職員に対し周知を図っているところです。

今年度からは、「共生社会づくり通信」を県職員向けに発行し、職員一人ひとりが合理的配慮に対する共通認識を持ち、実行を促す取り組みを開始しております。今後も、継続した職員の養成に取り組んでまいります。

5 障害者の立場に立った災害者支援の充実を要望する。

〈回答要旨〉(危機管理防災課)

○県の防災行政を推進するために、担当部局と関係団体等とが十分に協議を重ね、その結果を総合的に取りまとめながら進めることが重要と考えておりますので、協議への障害者団体の参加について、健康福祉部をはじめとする関係部局に対し働きかけてまいります。

なお、市町村に対しても、各市町村の会議等へ参加できるよう依頼してまいります。

○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関する過密対策の観点も踏まえ、発災時に可能な限り多くの避難所を開設することについて市町村とともに検討を進めてまいります。

〈回答要旨〉(健康福祉政策課)

○現在の災害時における要配慮者の避難の流れは、まずは地域の一般避難所へ向かい、その後市町村職員が、個別の福祉避難所等へ振り分けることが一般的であります。

現在、国において、要配慮者の避難行動の個別計画策定を制度化化する動きがあり、これと併せて福祉避難所への直接避難を促進するための方策について検討が行われているところです。今後の国における検討結果に応じ、市町村に対する情報提供や要請をしてまいります。

6 障害者福祉施策に係る予算の充実確保を要望する。

〈回答要旨〉(障がい者支援課)

○障がい者の皆様が地域で安心して暮らしていくことができるよう、国の動向を十分に把握しながら必要な予算の確保に努めるとともに、障がい者福祉施策が後退しないよう市町村とも連携して施策の推進に努めてまいります。

初めての 支部対抗 ポッチャ大会

安曇野市身障協会 中村 豊江

安曇野市は、平成十七年十月一日に豊科町・穂高町・明科町・三郷村・堀金村の5町村が合併して誕生し、翌十八年四月一日に安曇野市身体障害者福祉協会が発足しました。

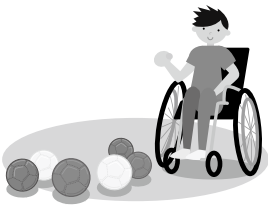
現在も本部を中心とし、5支部が活発にそれぞれ支部に合った事業を進めています。その一つとして、「ポッチャ」があります。天候に関係なく誰でも楽しめるスポーツです。



5支部が1セットずつ用具を持ち、練習に励んでいる様子を見て、そろそろ5支部対抗ポッチャ大会を開催しようとなり、神無月に入りまもない三日、明科公民館講堂で会員四十二名・ポッチャ協会より四名・手話通訳者二名で、午前9時開会、ABCブロックそれぞれが競いあい点数で順位を決め、決勝戦へと進んでいきます。

用意されたお弁当を食べ、午後は決勝戦。決勝に残ったのは、三郷チームと穂高チーム、審判をお願いしたポッチャ協会の方からルールの説明を聞き、大勢の仲間が見守るなか試合開始。声援も拍手もOKというので、どちらを応援するでもなくジャックボール（白球）に近付けば拍手：応援団の拍手の結果、優勝は三郷チームとなり順位ごとに賞品と参加された方々は参加賞を戴き、午後3時解散となりました。

事業を計画する側としていつも思います。参加している皆さんの表情がとても楽しそうだなって：これからも八話に花を咲かせるV場を沢山作っていききたいと：
そして新年度からは「吹き矢」も取り入れたいと考えています。



「赤い羽根共同募金」 街頭活動に参加

伊那市身障協会 高内 勲

先行きの見えない新型コロナウイルスの影響により、当協議会も諸活動が全面ストップしている中で、伊那市社会福祉協議会から毎年要請のある「赤い羽根共同募金」の街頭活動をさる十月四日（日）に取り組みました。

当日は、当会五役のほかに各地区支部長さん達の協力参加もあり、延二十八人が午前十時から午後三時まで、伊那市内の大型店「ベルシャイン」さんの正面玄関など四か所で来店客の人々に「共同募金にご協力お願いします」と声掛けし募金を募りました。



募金は三万円近く集まりましたが、年々寄付を下される方が減少傾向にあり、時代の流れとは言え「善意の心」の退潮傾向を寂しく感じています。救いは小さなお子さん連れの親御さんが子供の手を介して募金を、またお年寄りの方の協力に心が癒されます。



第23回長野県障がい者文化芸術祭

第23回長野県障がい者文化芸術祭 in ながのが9月17日(木)～22日(火)、長野県障がい者福祉センター「サンアップル」で開催されました。

また「ウェブ展示会」も現在開催されています。

どなたでも気軽にPC・スマートフォンでご覧いただけます。

<ホームページアドレス> <https://nagano-bungeisai.jp>



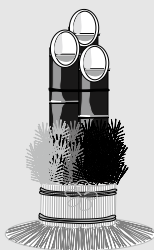
○知事受賞のみなさん

- 絵画の部 神崎 秀康 佐久市
「山」
- 手芸の部 北村 隆晃 千曲市
「－ ORIGAMI － 古の龍と強者は気高く歩む」
- 工芸の部 高橋 修司 南箕輪町
「数珠回し」
- 書道の部 小野澤 四郎 佐久市
「刻字(楽天智命)」
- 写真の部 伊原 耕作 飯田市
「魔法のホウキ」
- 文芸の部 市川 よし子 箕輪町
「読む楽しみ」(自由詩)

あとがき

明けましておめでとうございます。
本年開催されるオリンピック、パラリンピックが徐々に盛り上がりつつあるのはうれしい限りです。障害があってもスポーツを通して自己実現しているアスリート達は私たちに勇気と希望を与えてくれます。どんな大会になるのか本年が楽しみです。

編集委員長 塩原 敬治



県協会事務所移転のお知らせ

令和3年2月15日～19日に移転します。

移転先住所 〒380-0936
長野市中御所岡田98-1
長野保健福祉事務所 2F
TEL 026-228-0317 } 変更あり
FAX 026-228-8006 } ません

業務開始日 令和3年2月22日(月)～

障がいのある方々と共に成長し 社会に貢献していきます

業 務 内 容

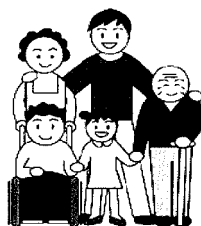
- 印刷 広報誌/記念誌/自費出版/文集/チラシ・パンフレット など
- 縫製 被服/のぼり旗/バッグ/帽子/各種防災用品 など
- アクアリウム メンテナンス付き観賞魚水槽のリース



社会福祉法人 **ながのコロニー**
指定就労継続支援(A型) **長野福祉工場**
事業所
〒381-8580 長野市徳間1443 TEL 026-296-1411
<http://nagano-colony.or.jp>

収益事業に ご理解とご協力を

日身連事業所は、各町内会・自治会のご協力を得て、回覧カタログによる収益事業と、皆様の福祉会からの「お茶」販売で県身障協と地元福祉会の財源確保のお手伝いをさせて頂いております。宜しくお願い致します。



日身連収益事業所

東京都渋谷区代々木5-57-6
所長 佐藤 宏
フリーダイヤル 0120-450-450